

緑陰通信

News from the shade of trees

目次

- 第2期アクションプラン …………… P2
- 第63回こどもの読書週間立図書館 …… P3
- 日之影町立図書館オープンについて …… P4
- 令和3年度古文書講座 …………… P5
- HPリニューアルのお知らせ …………… P6

※緑陰通信は県立図書館のホームページ (<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>) からご覧いただけます。

「愛され続ける図書館をめざして」



宮崎県立図書館長
岩本 真一

第54代館長を拝命しました。あらためて館の歴史を紐解くと、創立は明治35年、府県立では全国で3番目にできた図書館です。この緑陰通信は、井伏鱒二門下で太宰治とともに活躍した作家中村地平氏（第23代館長）によって昭和25年に創刊されています。

中村氏の後を引き継いだ日高^{はじめ}一館長のときには市町村と連携した「宮崎県公共図書館連絡協議会」の結成など図書館サービスを全県下に広げる取組が本格化します。また、日高館長就任2年目の昭和34年には2代目図書館（現在の建物は4代目）が火災に遭いますが、小学生からお年寄りまでその場に居合わせた住民の協力で約2万5千冊の古文書等が焼失を免れ、その後起こった県民運動では県内各地から多くの図書や献金が寄せられて再建の大きな後押しになりました。まさに、「県民による、県民のための図書館」だったのです。こうした長い歴史を経て現在の県立図書館があります。

今、世界は大きな変革期にあります。デジタル化が急速に進み、カーボンゼロ社会に向けた動きも一気に加速しつつあります。一方で、格差と分断、弾圧や覇権主義といった負の側面もクローズアップされています。コロナ禍を機に遠い国の様々な出来事が我々の暮らしと密接につながっていることを実感するようになりました。情報があふれ、価値観が多様化し、物事がめまぐるしく変化するこのような時代だからこそ、よりよく生きるための知識や情報を誰もが入手でき、心を豊かにする文学作品に出会える図書館の必要性はますます高まるのではないのでしょうか。

先日、とあることから「ニューヨーク公共図書館」の話題になりました。オードリー・ヘプバーン

の主演映画「ティファニーで朝食を」の舞台にもなったアメリカが世界に誇る図書館（1895年開館）です。従来の図書館像を覆すその取組は、ジャーナリストの菅谷明子さんが「未来をつくる図書館（岩波新書 2003年）」で紹介していますし、また、2017年にはドキュメンタリーの巨匠フレデリック・ワイズマンが映画化しています（今年度DVDを収蔵予定です。乞うご期待!）。菅谷さんの本などから受けた印象は、「あらゆる人々に門戸を開き、その営みを全力で応援するため絶えず進化し、市民に愛され続ける知の殿堂」。その規模も体制も当館とは比較になりませんが、「Live! Library」を合い言葉に人づくりと地域づくりに役立つ図書館をめざす当館にとってその考え方や取組は大いに参考になります。

当館の第2期のアクションプランがスタートしました。今年度の重点項目の筆頭に掲げているのが、「レファレンスサービスの充実」です。「レファレンス」とは、いわば情報への道案内です。当館のスタッフは皆、利用される方々のニーズに応えることに喜びを感じながら仕事をしています。

また、コロナ対策にも万全を期してまいります。感染者が急増したゴールデンウィーク、お子さんの手を引いて来館されたお父さんが「今日は中では読めないみたい。残念だったね。」と言って帰られる姿に胸が痛みました。コロナを前提とした暮らしがまだしばらく続きますが、県内各地の図書館とも連携しながら安全かつ最大限にご利用いただける環境を引き続き整えてまいります。

来年、当館は創立120年を迎えます。多くの県民の皆様が愛され続ける図書館となるため、しっかりとバトンを繋ぎたいと思っています。

県立図書館第2期アクションプランについて

当館では、宮崎県立図書館ビジョン（平成30年度からの10年間）を策定し県立図書館の目指すべき姿や方向性を明確にし、具体的には第1期アクションプラン（平成30年度からの3年間）に基づき各種施策に取り組んできました。このたびその成果や課題を踏まえ、令和3年度からの3年間を実施期間とする**第2期アクションプラン**を策定しました。今期プランでは、新型コロナウイルス感染症への対応についての項目を新たに設けています。

第2期の主な取組等

1 全県的な読書環境と図書館ネットワーク構築の核

- ① 図書配送システムの周知と一層の活用
- ② 市町村立図書館（室）への巡回訪問等
- ③ 高校教育課等と連携及び県立学校図書館への運営助言等の実施
- ④ 所蔵資料の収蔵スペースの確保等

2 県立図書館ならではの専門的なサービスの充実

- ① 国立図書館レファレンス共同データベースの登録促進
- ② 専門的な資料の収集及び県民への情報発信
- ③ 電子書籍導入にかかる検討
- ④ 読書に障がいのある方や外国人への多分化サービス周知

3 「知の共有・創造」による深い学びや課題解決の支援

- ① 非来館型の情報サービスに関する調査研究
- ② 情報探索の手がかりとなる書誌情報の充実
- ③ 図書館資料等を活用した調査研究、議論等の場の提案
- ④ 課題解決型サービスに関する市町村立図書館（室）への助言・支援

4 みやざきの文化の理解・継承の促進

- ① 杉田文庫活用のための資料内容の確認・整理
- ② 館内資料の劣化や破損の抑止策についての検討
- ③ 地域資料収集・保存に関する市町村立図書館（室）への助言
- ④ 地図等地域に関する貴重資料所蔵情報のデータベース化
- ⑤ 地域資料のデジタル化の推進と情報発信

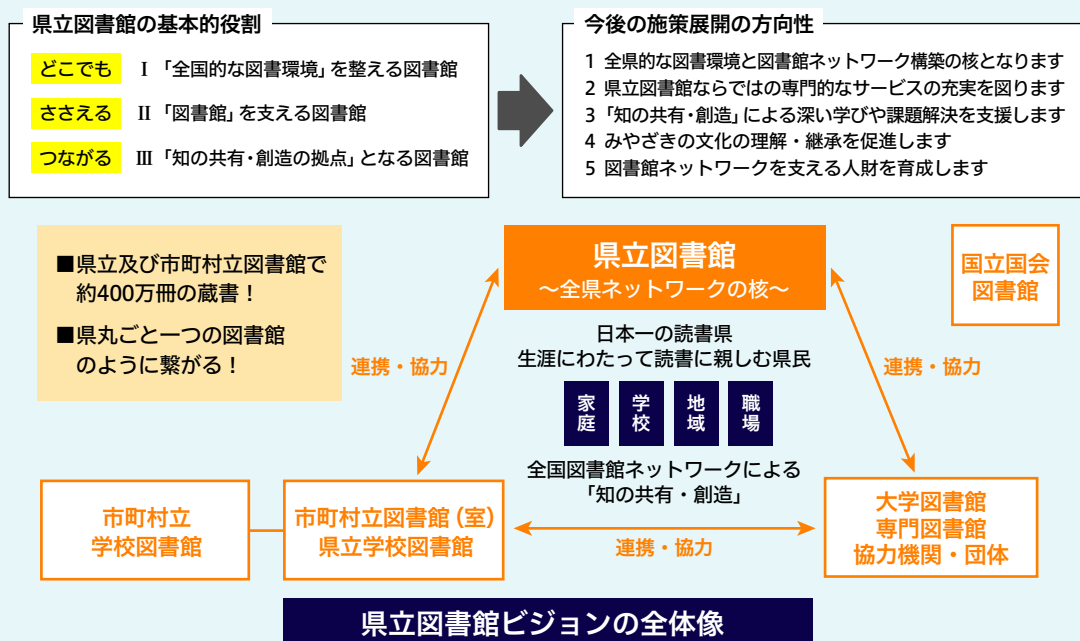
5 図書館ネットワークを支える人財の育成

- ① 県内における専門的研修の実施等
- ② 市町村立図書館（室）からの短期研修受入れの検討
- ③ 自己点検や外部評価による課題の把握と業務改善

○ 新型コロナウイルス感染症へ対応した運営

- ① 感染防止策の実施と市町村立図書館（室）との情報共有
- ② 新型コロナウイルス感染症に関する資料収集
- ③ Withコロナにおける図書館の在り方に関する研究

基本目標 「知の共有・創造」を支える全県図書館ネットワーク



● 県立図書館トピックス

■第63回こどもの読書週間

4月23日は「子ども読書の日」です。この日を含み、毎年、4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」とし、全国各地でさまざまなイベント等が行われています。

県立図書館では、「ともに生きる」をメインテーマに、共生社会について考えるきっかけとなるようなおはなし会や企画展示を行いました。

おはなし会では、「みんなと絵本を楽しもう」をテーマに、『ぐりとぐら』などを中国語と日本語で読んだり、『しゅわしゅわ村のゆかいなりのもの』などを手話通訳付きで読んだりしました。また、韓国語とドイツ語のじゃんけんや覚えたての手話を使って「おおきなくりの木の下で」を行いました。楽しみながら、外国の言葉や文化、手話にふれることができました。



1階ギャラリーでは、共生社会の実現に向け、子どもの頃から違いを認め合い、支え合うことの大切さに気付くことができるような本やパネルを展示しました。また、宮崎大学教育学部の学生が、授業で小学生向けに作成したPOPを本とともに展示しました。その他、こどもしつやボランティア団体の紹介、布の絵本の展示などを行いました。

ちなみに、毎年恒例、昨年度の児童室の絵本貸出ベスト10では、A・トルストイ再話『おおきなかぶ』が1位でした。

■特別展「^{いのち}生命を守る～語り継がれる^{さいか}災禍の記憶～」

4月24日(土)から6月30日(水)まで、特別展「^{いのち}生命を守る～語り継がれる^{さいか}災禍の記憶～」を開催しています。5月3日(月)より同展の観覧を一時中止していましたが、県独自の緊急事態宣言の解除を受け、会期を6月末に延長しました。今回の展示会では、県内外の地震・噴火及び感染症の歴史について、過去にどのような災害が起きたのか、また、人々がどのように災害と向き合ってきたのかを紹介しています。災禍の記憶をたどり、日本や郷土宮崎の地域特性、及び防災・減災について考えてみませんか。



県立図書館の事業を紹介します

■日之影町立図書館のオープンと支援

県立図書館では、県内の公共図書館等の要請に応じて職員を派遣する要請訪問を行っています。日之影町立図書館の開館に向けて、令和2年度から令和3年度にかけて職員を派遣し資料収集や初任者研修等の支援を行ってきました。開館前の4月に行った職員研修では、日之影町民のために図書館として何ができるだろうと考える職員の方の真摯な姿が印象的でした。日之影町立図書館の職員の方は、日之影町内の4つの小中学校の図書館運営にも関わられます。学校図書館の充実には生涯にわたって読書に親しむ素地をつくるために大切なことです。県立図書館は、今後も日之影町の読書環境の充実のために日之影町立図書館への支援を行っていきます。

令和3年5月6日に日之影町の新庁舎が開庁し、日之影町立図書館はその新庁舎の中に併設され、同日開館しました。以下に新しく開館した日之影町立図書館をご紹介します。



2階スペース



1階スペース

日之影町立図書館は、入口を入るとすぐに吹き抜けがあり、一面ガラス張りで明るく開放感のある空間となっています。机や壁材に日之影町産のスギやヒノキを使用しており、木材特有のかおりやぬくもりのある雰囲気を感じられるのが特徴となっています。

1階スペースは児童書から一般対象の資料が配架されており、所蔵可能冊数は2万冊です。2階スペースは、ガラス張りの窓に沿って、学習スペースが設置されており、周囲の山々を一望しながら学習や調べ物ができます。また、館内に無料のWi-Fiやパソコンでの作業に対応した電源も提供されています。

本の日焼けを防ぐためのスクリーンカーテンが装備されていたり、新型コロナウイルス感染症への対応として学習スペースがアクリル板で区切られていたり、電源や照明が各スペースに配置されていたりするなど、利用者のニーズや危機管理対応に応じたきめ細かな対策もされています。

■メモリアル宮崎～郷土を知ろう～

宮崎県立図書館には過去の宮崎の様子を記録した16ミリフィルムが所蔵されています。その貴重な映像を活用していくためデジタル化の作業も少しずつ行っています。その資料の上映会を行うことで、県民の皆様が過去の宮崎の様子を知るとともに、郷土宮崎を見つめ直す機会になればと考えています。

令和3年度は、「日本のふるさと宮崎国体」を上映します。1979年に、宮崎県内17市町村で開催された第34回国民体育大会が行われました。この作品は、宮崎県選手団の活躍や、大会を支える県民の姿など、当時の宮崎県の様子が鮮やかに甦る映像となっています。この企画は、来年度以降も継続して行う予定です。

■令和3年度 古文書講座「近世文書を読み解こう」

今年度は6回開講します。1・2回は「御軍備覚書」^{ごぐんび おほえがき}を、3回から6回は「安南国漂流記」^{あんなんこく ひょうりゅうき}をテキストとして、古文書を解説していきます。(第1回の講座は6月5日(土)に終了しました。)

第2回 7月3日(土) 「御軍備覚書」^{ごぐんび おほえがき} 那賀 教史氏

第3回 10月14日(木)

第4回 10月28日(木)

第5回 11月13日(土)

第6回 11月27日(土)

「安南国漂流記」^{あんなんこく ひょうりゅうき} 柘植 幹雄氏

第2～6回
2階視聴覚室(先着20名)

■令和3年度 宮崎県文化講座

様々な分野で活躍されている方を講師として招き、講演を行います。

第1回 7月17日(土) 「文化と町づくり」
宮崎大学地域資源創成学部教授
根岸 裕孝氏

第2回 8月21日(土) 「好きな場所で、
好きなことをして生きていく」
ソルクリエイターズ
坂口 潤成氏

2階研修ホール(先着40名)

第3回 1月23日(日) 「夢の甲子園
～人づくり 心づくり チームづくり～」
宮崎県立富島高等学校教諭
(同校野球部監督)
濱田 登氏

■ビジネスミニセミナーのご案内

県立図書館では、県内企業や事業者の皆様に向けたビジネス支援を行っています。その一環として、今年度より宮崎よろず支援拠点と共同で「ビジネスミニセミナー」を開催しています。専門のコーディネーターが、事業計画の立て方やITを活用した販売戦略など、ビジネスに役立つ情報を紹介します。セミナー後には個別相談会もありますので、ぜひご参加ください。

ビジネスミニセミナー

毎週木曜日(祝日を除く) 14時～15時 本館2階研修室(要予約)

お申込み・お問合せ 宮崎県よろず支援拠点 TEL 0985-74-0786

※各種行事・イベントでは、感染症予防対策を実施いたします。

○感染症対策(マスク着用、手指消毒、検温、連絡先記入他)にご協力ください。

○感染状況によっては、中止や内容の変更等もあります。ご了承ください。

県立図書館からのお知らせ

■ホームページをリニューアルしました

令和3年3月、図書館システム更新に伴い、ホームページもリニューアルしました。

トップページは、落ち着いた色合いとすっきりしたデザインが特徴で、目的のページが探しやすいつくりとなっています。また、トップページ上部に「蔵書検索・横断検索」窓が設けられ、検索結果等のページでは新たに書影（本の表紙画像）が追加されるなど、より便利にお使いいただけるようになりました。



■「Myライブラリ」の新しい機能をご紹介します

ホームページの「Myライブラリ」に便利な機能が加わりました。ぜひご利用ください。

●パソコンやスマートフォンで「貸出延長」申込みができます

ご自宅のパソコンやスマートフォン等を使って「Myライブラリ」にログインすると、返却期限日の前日以降かつ予約のっていない当館所蔵資料に限り、簡単に「貸出延長」申込みを行うことができます。

●スマートフォンで貸出利用券を表示できます

スマートフォン版「Myライブラリ」では貸出利用券の番号とバーコードを表示することができます。

こちらの画面をカウンターで提示すると、通常の利用券と同様に、資料の貸出を受けることができます。



※「Myライブラリ」ご利用の際はパスワードが必要です。パスワードをお忘れの方はカウンターにてパスワードの再発行手続きをお願いします。

■デジタルアーカイブ

デジタル化した貴重資料をホームページ上で公開しているデジタルアーカイブのページをリニューアルしました。従来のキーワード検索の他、地域や時代を選んでもできる掛け合わせ検索、資料一覧からサムネイルを選んでの簡易検索ができるようになり、よりわかりやすい方法で調べる事が可能となりました。ぜひご利用ください。



国文祭・芸文祭みやざき2020
「いざ神話の源流へ」
2021/7/3～10/17



県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。
宮崎県

ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00
■児童図書室：9:00～17:00
休館日 ■毎週月曜日（祝日の場合翌日）
年末年始：12/29～1/4
特別整理期間：1/31～2/10

編集・発行

●宮崎県立図書館

所在地 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
TEL ■0985-29-2911（総務・企画課）
FAX ■0985-29-2491（総務・企画課）
HPアドレス ■<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

